

整備手法

基本構想

基本計画

基本設計

実施設計

建設工事

開院

公立学校共済組合 四国中央病院 移転・新築

# 中核病院の

— 令和10年度  
開院に向けて —

# 基本計画が策定

# されました

問い合わせ先

四国中央病院総務課  
市医療対策課

58-3515  
28-6157



公立学校共済組合の病院として、

質の高い医療を提供し、地域と共に成長し、安心・安全を未来に繋ぐ

— Professionalism, Development, Safety and Continuity —

療養環境の向上を図るため、現病院の病床よりも全体面積、1床当たりの病室面積を広げます。  
また、病室・分娩室・回復室が一体となったLDR室整備による周産期医療を引き続き行います。  
更に、新興感染症へ対応できる病棟計画としました。

## 病床面積を十分確保し、療養環境の向上へ

新病院は、感染症病床、地域包括ケア病棟、緩和ケア病床の新設のほか、HCU（高度治療室）や手術室の増設など重症患者への対応強化を図ります。  
また、救急告示病院や災害拠点病院などの役割を担い、外来・診療部門などの機能強化を図ります。  
災害時においても3日間の医療提供体制を充足できる環境を整備します。

## 重症化患者への対応強化 中核病院としての機能強化

今年3月、公立学校共済組合（東京都千代田区）は、四国中央病院（川之江町）と三島医療センター（中之庄町）を統合した新たな中核病院の「基本計画」を策定しました。  
基本計画は、今後の設計の指針となるものです。

### 施設概要

既存建物を撤去して、建設

建設地 三島医療センター敷地（中之庄町）  
敷地面積 約21,500㎡  
延床面積 約18,900㎡

### 総病床数

224床

一般病棟	159床
内) HCU	8床
感染症	4床
産婦人科	15床
地域包括ケア病棟	52床
内) 緩和ケア	5床
人間ドック病床	13床

### 病室面積

※1床当たり

### 療養環境の向上

個室率の向上

8㎡以上  
確保



## 望ましい中核病院の誕生へ向けて



公立学校共済組合  
四国中央病院  
北川 哲也 病院長

基本計画を策定しました。今後、基本設計・実施設計に進みます。  
中核病院としての使命を担うとともに、「利便性」や「環境」の観点からも望ましい姿を生み出すべく全力で取り組みます。